

## 平成26年度 体制を強化し新たなスタート!!

# スローガン 今こそ結集!! 「創意と工夫 勇気と情熱」



## 会長所信

弘前商工会議所青年部  
平成26年度 会長

# 一戸 勝美

私達の暮らすこの弘前市の経済状況は、今は東日本大震災の復興需要の影響などにより、建設関連業種を中心に、一時的な回復傾向が見えている状況ですが、長期的な側面から見ると、依然として厳しい状況には変わりありません。

弘前市の人口は、20年後には今の約18万人からおよそ4万人、約2割が減少すると予想されています。それに加えて少子高齢化の影響により、高齢者の比率が高くなる一方で若年者や子育て世帯などの消費世代の割合が減少することでますます消費が落ち込み、経済面では人口減少の比率以上の落ち込みが懸念されています。

そのような状況の中で、この地域で唯一、経済の活性化を主たる目的として活動している若手の団体である私達は、地域経済の担い手としての責任を自覚し、ただ他人任せで状況の好転を待っているのではなく、自らが考え、行動し、将来この地域が持続的な発展を遂げられるような成果を残していく必要があります。

そのためには、他の都市にない弘前市の魅力である豊かな自然環境、りんご産業、多くの大学、弘前城など先人達が築いて守り通してきたこの大いなる遺産を最大限に活用し、青年経済人らしい柔軟な発想と行動力に加え新しい価値観を導入し、他の地域にはできない弘前独自のオリジナリティ溢れる経済活性モデルを早急に作り上げ、『弘前型の新産業』『弘前型の新事業』を起こし、実践していきたいと思ひます。将来、私達の今の活動が実を結び、より多くの市民が私達の創り上げた事業で生計を成り立たせることを目的として取り組んでいきます。



これらの目的を成し遂げるためには、メンバー個々のスキルアップとメンバー同士の団結力が必要となります。会員の皆さんがまず取り組まなければいけないことは、自分たちが所属する企業の発展です。企業を経営することは最大の地域経済貢献事業と言えます。売り手よし、買い手よし、世間よしのいわゆる三方よしの理念にのっとり、事業を繁盛させ、より多くの雇用を維持し、健全な利益を追求し、しっかりと税金を納めることが最大の社会貢献であるということ認識し、それぞれのスキルアップを図りながら、会員130余名の人脈をフル活用し社業の発展に努めてもらいたいと思ひます。

そして、それぞれの企業活動をしっかりと行いながら、少しでも余った時間をYEG活動に割いていただき、優秀なメンバーによる固い団結力で地域経済の発展に取り組んでもらいたいと思ひます。

人口減少などの影響による経済全体が縮小していくこれからの時代、地域の経済を守り発展させるためには、これまでの概念や経験則を捨て、あらゆる角度から状況を分析し、より新しい価値観と概念で事業を創造する必要があります。そしてその役割を担えるのは、地域を支える若き経済人の団体である私達ではないでしょうか。地域全体の活性化を図り、その恩恵を自分たちの企業をはじめとする地域全体に波及させることが私達の使命と自覚し、それを実行することで、より豊かで住みよい郷土づくりにすこしでも貢献できるように努力をしてみたいと思ひます。

## 役員紹介



直前会長  
清藤 崇



副会長  
大中 実



副会長  
奈良岡 隆人



副会長  
對馬 一博



副会長  
前田 一



副会長  
小林 裕之



専務理事  
帯川 登之



事務局長  
小田桐 誠